



洪水(大栗川・乞田川)・内水氾濫・土砂災害 ハザードマップ 6

凡例

◎ 災害対策本部	要配慮者利用施設
倉 防災倉庫	アンダーパス
倉 地区防災倉庫	地下施設
消防署・消防団詰所	水門
警察署・交番	水路ポンプ施設
一時避難場所	河川監視カメラ
避難所・避難場所	水位観測所
避難場所	

早期の水平避難が必要なエリア
 家屋倒壊等氾濫想定区域(河岸侵食)

河川が氾濫した場合の浸水区域
 急傾斜地崩壊危険区域
 急傾斜地の崩壊(げけ崩れ)
 土砂災害特別警戒区域
 土砂災害警戒区域
 土石流
 土砂災害特別警戒区域
 土砂災害警戒区域

浸水深の想定と目安

5.0m以上	2階の天井以上まで浸水する程度
3.0m~5.0m未満	1階の天井から2階の天井近くまで浸水する程度
1.0m~3.0m未満	1階の床から1階の天井まで浸水する程度
0.5m~1.0m未満	1階の床まで浸水する程度
0.1m~0.5m未満	1階の床下まで浸水する程度

災害時の連絡手段法

●音声録音(災害用伝言ダイヤル171)

家族の安否に関するメッセージを録音、再生できる。相手の電話番号を入力して、伝言を録音しよう。

録音する場合

1

電話番号を入れる(*)
XXXX-XXXX-XXXXX

プッシュ式
電話機の場合 1#

録音する(30秒以内)

再生する場合

2

左と同じ番号を入れる(*)
XXXX-XXXX-XXXXX

プッシュ式
電話機の場合 1#

伝言が再生される

●災害用伝言板(web171)

インターネットを利用した安否情報確認ができる伝言板。メッセージを文字で登録することができる。インターネットが接続できれば、どの端末でも登録可能。

<https://www.web171.jp> へアクセス
もしくはweb171で検索

規約を読み、「同意する」を選択

被災地の人の電話番号を、市外局番から入力

伝言を登録・確認

●災害用伝言板(携帯電話会社のサービス)

それぞれの携帯電話会社でも災害用伝言板を設置。自分が契約している携帯電話会社のみ登録可能。閲覧はパソコンや他社の携帯電話からも可能。

安否を登録するとき

※登録は携帯電話からのみ

トップ画面から「災害用伝言板」を選択

「登録」を選択

「登録」の画面から状態・状況・定型コメント(会社によって異なる)から選択し、任意で100文字以内のコメントを入力し、「登録」を押す
→登録完了

伝言を登録するとき

※確認は携帯電話とパソコンから可能

トップ画面から「災害用伝言板」を選択

「確認」を選択

安否情報を確認したい方の携帯電話番号を入力し、「検索」を押す

確認したい安否情報を選択し、内容を確認

※平常時の利用は不可。体験利用ができる期間あり。
 体験期間 ・毎月1日・15日 ・正月三が日 ・防災週間(8/30~9/5) ・防災とボランティア週間(1/15~1/21)